

## 廿日市市で新規就農者の研修開始

【平成30年4月16日掲載】

廿日市市新規農業経営者育成事業の開講式が平成30年4月5日に開催されました。佐伯中央農業協同組合は、平成25年度から「廿日市市新規農業経営者育成事業」を始め、すでにこの研修を受けた5名が就農しており、「ほうれんそう」、「こまつな」等を生産しています。

今春から研修生となった久保田基樹（くぼた もとき）さんは、「先輩と一緒に佐伯地区の農業を担っていけるよう努力していきたい」と抱負を述べられました。関係機関は、「廿日市市の担い手として期待している」、「関係機関で協力して応援していく」といったメッセージを送り、一体となって就農に向けて支援することを確認しました。

久保田さんは、4月から2年間研修を受ける予定です。研修は、農協による基礎研修や指導農業士等の先進農家による実地研修、西部農業技術指導所による経営管理研修などを計画しています。平成31年春から就農地での実践研修を行い、5年後には400万円の所得確保を目指します。



情報提供元

西部農業技術指導所